



# 東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

## 全組合員でたたかい抜いた成果を確認 2024 春闘要結 中央執行委員会見解を発売

中央本部は3月8日の団体交渉で受けた申21号・2024年賃金改定に関する申し入れに対する会社回答に席上妥結せず、持ち帰り議論を行いました。「昇給係数4」での定期昇給実施、エルダー社員の基本賃金引き上げ額は共に満額回答であり、基本給の引き上げも要求額に迫る

組合側——ベースアップに格差をつけることに一貫して反対  
会社業績が回復基調の中で迎えた今2024春闘は、賃金引き上げに対して「さらなる営業収益の確保とコストダウンが必要で厳しい経営環境」「中長期的な動向等を勘案して慎重な判断が必要」とした経営側のネガティブな姿勢からのスタートでした。



ベースアップは生産性の向上が基本的な考慮要素であるが、物価高騰などでも判断要素とならざるを得ない状況にあり、組合側は、会社組織の再編や融合と連携などにより、すべての社員は一人二役・三役の業務を担い、限られた要員のもとで安全・安定輸送をつくりだしていることを訴えました。

労働密度が高まっているとの返答に対し組合側は、労働密度は高まる一方で生産性も向上させていると指摘、社員の奮闘や物価高騰をはじめ、社員を取り巻く状況や経営状況などを見てベースアップを行わない理由は存在しないことを強く主張しました。

3回にわたった交渉を通じて東日本ユニオンは、

回答を引き出したことなどから、中央本部は3月15日、妥結することを経営側に伝えました。一方で、ベースアップに社員間で格差をつけたことに対して中央本部は、あらためて「社員一律」によるベースアップを勝ちとることを課題に継続して取り組んでいくこと確認しました。

い努力してきたことから、職制によるベースアップの格差コントロールは認めないことを繰り返し主張しましたが経営側は、基本給の構成上、職責は重要だと考えているとして、職責の重さに対して措置することには合理性があるとの回答に終始しました。

◆ ◆  
本部が2月13日に申し入れを提出して以降、東日本ユニオンには多くの声が寄せられました。物価高に直面する生活の苦しさ、高まる労働密度に見合っていない賃金、会社だけが成長し続けることへの不満、そして春闘において社員が大切にされていると実感できる賃金引き上げを求める「声」が結集し、労働側の大きな団結をつくりだしました。

◆ ◆  
その結果「賃金は労働条件の最たるものであり、社員のモチベーションの向上につなげる」ことを経営側に認識させ、要求額に迫る回答を勝ちとることができました。

◆ ◆  
これは組織の総力をあげて、労働者の団結で2024春闘を共に闘い抜いた全組合員の成果です。中央本部は3月15日、会社回答に対して妥結することを経営側に伝え、同日「2024春闘妥結に関する中央執行委員会見解」を発売しました。

◆ ◆  
定期昇給について、2021年度賃金改定で経営側が「昇給係数2」を実施した事実から4係数での実施を要求しました。

◆ ◆  
昇給係数を4未満とすることは、就業規則で定める「昇給の所要期間が1年未満の場合」のみしか適用できないとの組合側の指摘に対し経営側は、「昇給係数2」は良かったとは

◆ ◆  
思っていないとする一方で、昇給係数は「4以内」であると繰り返しました。

◆ ◆  
定期昇給「昇給係数4」を実施しない理由はなく、この場で実施を断言するべきだと主張しましたが経営側は、現時点で定期昇給「昇給係数4」実施は約束できず、実施については慎重に判断していくと述べるにとどまりました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。

◆ ◆  
職責の重さに見合った賃金は「昇格」「昇給」で保障されていること、物価高騰は全社員共通の問題であり、職制や職責の重さに関係がないことを指摘し、ベースアップ額は一律とすることを求めました。

◆ ◆  
社員は職制に関係なく、等しく職責の重さを背負っていることを訴えました。

◆ ◆  
2024春闘勝利、要求の実現に向けて、新潟県内の各機関では様々な取り組みが行われました。

◆ ◆  
1月22日から24日まで、各日2回の計6回にわたって、新潟県民会館において、新潟県連合会、新潟県新幹線車両センター分会、新潟設備分会、支分会を対象とした4分会集会を開催しました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。

◆ ◆  
組合員以外の方にも参加していただき2日間ですべ21名の参加で春闘満額回答実現に向け決起しました。

◆ ◆  
この他にも多くの取り組みが行われ、交渉の力となりました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。

## 団体交渉の日程決定!

申20号 磐越西線におけるホーム除雪の徹底を求める申し入れ

2024年 3月26日(火) 13時00分より

団体交渉に向けて 職場からたたかいを作りだそう!



新津地区分会 春闘集会

上中越支部は、2月27日から29日に春闘総決起集会&飲み会を開催しました。3日間の開催で総勢

この他にも多くの取り組みが行われ、交渉の力となりました。

◆ ◆  
4分会集会(新潟支部) 1月22日から24日まで、各日2回の計6回にわたって、新潟県民会館において、新潟県連合会、新潟県新幹線車両センター分会、新潟設備分会、支分会を対象とした4分会集会を開催しました。

◆ ◆  
春闘総決起集会&飲み会(上中越支部) 集会終了後には寒鰯鍋を囲みながら懇親を深めました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。

◆ ◆  
2024春闘勝利、要求の実現に向けて、新潟県内の各機関では様々な取り組みが行われました。

◆ ◆  
1月22日から24日まで、各日2回の計6回にわたって、新潟県民会館において、新潟県連合会、新潟県新幹線車両センター分会、新潟設備分会、支分会を対象とした4分会集会を開催しました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。

◆ ◆  
2024春闘勝利、要求の実現に向けて、新潟県内の各機関では様々な取り組みが行われました。

◆ ◆  
1月22日から24日まで、各日2回の計6回にわたって、新潟県民会館において、新潟県連合会、新潟県新幹線車両センター分会、新潟設備分会、支分会を対象とした4分会集会を開催しました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。

◆ ◆  
2024春闘勝利、要求の実現に向けて、新潟県内の各機関では様々な取り組みが行われました。

◆ ◆  
1月22日から24日まで、各日2回の計6回にわたって、新潟県民会館において、新潟県連合会、新潟県新幹線車両センター分会、新潟設備分会、支分会を対象とした4分会集会を開催しました。

◆ ◆  
2月28日、3月1日に分会主催で春闘集会を開催しました。



上中越支部 春闘総決起集会&飲み会